

「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発」平成20年度採択テーマ一覧

※1 文部科学省／橋渡し研究支援推進プログラム実施機関等を示す。

※2 厚生労働省／臨床研究基盤整備推進研究事業 治験中核病院・拠点医療機関を示す。

分野	フェーズ	件名	参画機関（五十音順）	実施概要
創薬	橋渡し	<p>「マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬技術の開発：薬物動態・薬効の定量的予測技術を基盤として」</p> <p>プロジェクトリーダー 東京大学大学院 薬学研究科 研究科長・教授 杉山 雄一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○参画企業 有限責任中間法人医薬品開発支援機構（研究分担先： アドメリサーチ(株)、積水メディカル(株) ○橋渡し研究拠点等 大阪市立大学医学部^{※2}、北里大学医学部^{※2}、(財)先端医療振興財団^{※1}、(独)放射線医学総合研究所 ○大学、研究機関等 九州大学、京都大学^{※1}、摂南大学、東京大学^{※1}、(独)理化学研究所 ○協力機関 アステラス製薬(株)、エーザイ(株)、大塚製薬(株)、小野薬品工業(株)、塩野義製薬(株)、第一三共(株)、大正製薬(株)、大日本住友製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、武田薬品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、中外製薬(株)、萬有製薬(株)、(株)加速器分析研究所 	<p>早期ヒト臨床での候補薬物の選択をより高精度に行い、臨床開発におけるドロップアウトを低減することを可能とするため、創薬研究で見出された薬物の体内動態を、極めて低用量で投与し、薬物の吸収性や体内動態、および PET による組織内移行をヒトで計測することにより、臨床投与量での薬物動態の予測を可能とする技術の開発を行う。</p>
創薬	橋渡し	<p>「臓器線維症に対するVA-ポリマー-siRNAを用いた新規治療法の開発」</p> <p>プロジェクトリーダー 札幌医科大学 分子標的探索講座 特任教授 新津 洋司郎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○参画企業 日東電工(株) ○橋渡し研究拠点等 札幌医科大学^{※1} ○協力機関 北海道臨床開発機構^{※1} 	<p>独自開発の生分解性ポリマーを用いて、コラーゲン産生分泌を抑制する siRNA を肝星細胞へ送達し、RNA 干渉を利用して肝線維症を治療する世界初の技術を、その診断技術とともに開発する。</p>

創薬	橋渡し	<p>「血管内皮細胞選択的ナノ DDS 技術開発を基盤とする革新的低侵襲治療的血管新生療法の実現のための橋渡し研究（ピタバスタチン封入ナノ粒子製剤の研究開発）」</p> <p>プロジェクトリーダー 九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 准教授 江頭 健輔</p>	<p>○参画企業 興和(株) ○橋渡し研究拠点等 九州大学</p>	<p>ピタバスタチンの持つ血管新生の分子メカニズムを利用し、提案者が保有する「血管内皮細胞選択的 DDS 技術」と組み合わせて、重症虚血性疾患に対する革新的医療技術の開発を行う。</p>
創薬	橋渡し	<p>「ヘルパーT細胞を中心とした革新的免疫治療法の開発」</p> <p>プロジェクトリーダー 北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授 西村 孝司</p>	<p>○参画企業 テラ(株)、(株)バイオイミュランス ○橋渡し研究拠点等 札幌北楡病院、<u>北海道大学</u>*¹ ○大学、研究機関等 北海道大学 ○協力機関 北海道大学、<u>北海道臨床開発機構</u>*¹</p>	<p>新規がん抗原ペプチドにより誘導・活性化したTヘルパータイプ1(Th1)細胞を用いた、①アジュバントとペプチドを組み合わせたワクチン治療技術、②がん特異的Th1細胞とペプチドを用いたTh1細胞治療技術を対象として、ヒトでの治療効果検証を目的とした世界初のがん免疫臨床研究を行う。</p>
創薬	橋渡し	<p>「Oncoantigen を標的とした新規癌ペプチドワクチンの製品化を短期間に実現化する臨床研究技術の開発」</p> <p>プロジェクトリーダー 東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター長・教授 中村 祐輔</p>	<p>○参画企業 オンコセラピー・サイエンス(株) ○橋渡し研究拠点等 <u>大阪市立大学医学部附属病院</u>*²、<u>近畿大学医学部附属病院</u>*²、<u>帝京大学医学部溝口病院</u>、<u>東海大学医学部附属病院</u>*²、<u>東京女子医科大学東医療センター</u>、<u>東京女子医科大学病院</u>*²、<u>山口大学医学部附属病院</u>*² ○大学、研究機関等 順天堂大学、東京大学医科学研究所</p>	<p>大腸がんを対象疾患として、がんで発現の亢進している分子由来の新規癌抗原ペプチドを用いたペプチドカクテル療法に免疫増強剤としてのアジュバントを併用し、ヒトの臨床研究から得られた臨床効果とその免疫学的解析等を行い、より強い免疫反応を惹起し、治療効果を高める癌ペプチド療法の早期実用化を目指す。</p>

創薬	先導	<p>「アンチセンスオリゴヌクレオチドを用いたデュシェンヌ型筋ジストロフィーオーダーメイド医療を産業化するシステムの確立」</p> <p>プロジェクトリーダー 神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座小児科分野 教授 松尾 雅文</p>	<p>○参画企業 神戸天然物化学(株)、メディカルアクト(株)</p> <p>○大学、研究機関等 神戸大学</p> <p>○協力機関 NPO 法人DMD研究・治療支援機構</p>	<p>有効な治療法のない、ジストロフィン遺伝子の異常により発症するデュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)に対し、提案者らが開発してきた方法を用い、エクソン45のスキッピングを特異的に誘導するアンチセンスオリゴヌクレオチド(AS)を用いたDMD治療システムの臨床応用を目指し、ヒトでの有効性を検証することを目的に、先導研究を行う。</p>
創薬	先導	<p>「神経変性に対する革新的治療薬の研究開発」</p> <p>プロジェクトリーダー 名古屋大学 環境医学研究所 教授 錫村 明生</p>	<p>○参画企業 (株)アイ・エヌ・アイ</p> <p>○大学、研究機関等 名古屋大学</p>	<p>活性化ミクログリアに特異的なグルタミン酸産生・放出機序に基づき、活性化ミクログリア由来のグルタミン酸産生・放出のみを抑制することにより、副作用の少ない神経変性疾患に対する新規治療薬を創製する。</p>
診断	先導	<p>「抗がん剤治療を革新する有効性診断技術の開発」</p> <p>(財) 癌研究会 癌化学療法センター所長 鶴尾 隆</p>	<p>○参画企業 アロカ(株)</p> <p>○橋渡し研究拠点等 (財) 癌研究会</p> <p>○大学、研究機関等 (財) 癌研究会、筑波大学、徳島大学</p> <p>○協力機関 大鵬薬品工業(株)</p>	<p>提案者が開発した抗がん剤の効果の指標となるバイオマーカーを、より少ない臨床サンプルから効率的に同定する新規手法の検証を行う。また、本手法を適用し、①予め最も有効性が期待できる乳がん術前化学療法剤の選択法や、②効果が期待できる治験薬等を選択するための試験法の開発を目的とした先導研究を行う。</p>